

平成29年11月定例記者会見

日時：平成29年11月21日（火）13：30～

場所：本学事務局3階第1会議室

内容：

1. 『ハノイ—新潟 情報交換会』の開催について

（理事・副学長 三上 喜貴）

2. 鹿児島大学水産学部との包括的連携に関する協定締結及び共同研究の実施について

（技術科学イノベーション専攻・教授 山口 隆司）

3. 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰について

（機械創造工学専攻・教授 上村 靖司）

4. 日本自然災害学会学術賞について

（機械創造工学専攻・教授 上村 靖司）

5. 『起業セミナー』の開催について

講師：木谷高明氏（(株)ブシロード取締役）

～急成長するブシロードの極意とは！～

（技学イノベーション推進センター教授 片川 真実）

6. 長岡技術科学大学の大光銀行テクニカルパートナー研修会の開催について（大光銀行行員15名参加）

（国際技学共同教育研究推進室）

以 上

ハノイ-新潟 情報交換会のお知らせ

~ Cross-sectoral Networking, JETRO-IUJ-NUT ~

日本貿易振興機構（JETRO）、国際大学（IUJ）、長岡技術科学大学（NUT）は、2016年5月に包括的な連携推進に関する協定を締結いたしました。文化、産業、教育、学術等の分野で相互に連携し、学術研究面、人材教育面、産学連携面等での国際的な展開を推進し、日本及び新潟の発展と人材の育成に寄与することを目的としています。

JETRO ジェトロ

日本貿易振興機構(ジェトロ)

- ✓ 在ベトナム日企系業の活動支援
- ✓ ベトナム進出・販路開拓のための調査研究・情報提供
- ✓ ベトナムへの販路開拓支援



長岡技術科学大学

現地CP(カウンターパート):
ハノイ工科大学 (HUST)

- ✓ 国際産学共同研究
- ✓ 技術開発相談
- ✓ 実践的グローバル技術者育成
- ✓ 中小企業の海外進出支援
- ✓ テーラーメイド人材育成
- ✓ HUST内NUTオフィス (GTP: GIGAKUテクノパーク) を介した産学連携活動

リソースの利用!
企業の皆様に3機関
がリソースを
提供いたします



国際大学

- ✓ 進出日系企業への経営研修・語学研修
- ✓ 県内企業の海外進出を人材育成の面から支援

JETRO・IUJ・NUT主催・情報交換会を開催!

JETRO・IUJ・NUTともにハノイに海外拠点オフィスを有し、HUST協力のもと、異業種間ネットワーキング「ハノイ-新潟 情報交換会」を開催する運びとなりました。ベトナム国内では、IUJ・NUT・HUSTの卒業生・修了生が多く活躍しておりますので、グローバル人材との交流を希望される企業、ベトナムへの進出・輸出やベトナムとの業務提携に興味のある企業等、幅広い方々のご参加をお待ちしております。

ハノイ-新潟 情報交換会

開催日時：2018年1月22日（月）～ 23日（火）

開催場所：ハノイ工科大学/ベトナム（ノイバイ空港から車で60分程度）

主催：長岡技術科学大学、国際大学、ジェトロ新潟

後援：ハノイ工科大学、新潟ベトナム協会

日程：22日 ジェトロ：ベトナムの最新事情等

国際大学：大学紹介

長岡技術科学大学：グローバル展開等進捗状況報告

企業：企業紹介（数社）

ネットワーキングランチ（交流会・展示ブース）

ハノイ工科大学内見学

懇親会

23日 企業訪問（定員：10企業・先着順）

参加費：無料（但し、22日の懇親会費のみ自己負担といたします）

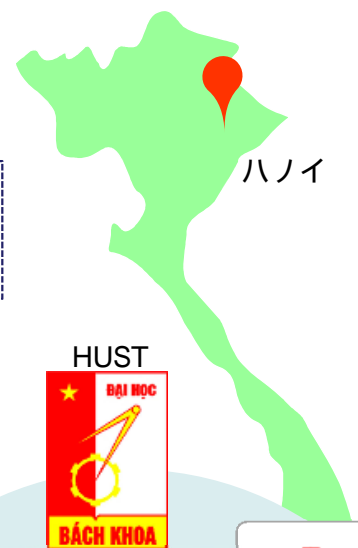
宿泊・交通費：自己負担

参加者：3機関（各大学の学生含む）、現地日系企業、新潟県企業等、

各大学現地CP（ベトナム企業等）、各大学現地OB人材、

参加〆切：12月11日（月） 参加申込は、各担当機関まで

現地通訳者が
日本語 ベトナム語
の通訳を行います!



鹿児島大学水産学部との包括的連携に関する協定締結及び共同研究の実施について

技術科学イノベーション専攻
教授 山口 隆司

1. 概要

本学は、10月27日に鹿児島大学水産学部と包括的連携に関する協定を締結しました。

本協定は、包括的な連携のもと、多様な分野で相互に協力を図り、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としています。

具体的には、鹿児島県長島町にある鹿児島大学水産学部の附属海洋資源環境教育研究センター（東町ステーション）の臨海実験施設を拠点に、海産物の養殖関連の共同研究を行うとともに、地域活性化のための取組を行うこととしています。

2. 締結式の様子（鹿児島大学水産学部）

鹿児島大学水産学部において行われた締結式では、東信彦学長と越塩俊介水産学部長が協定書を交わしました。挨拶で東学長は「本学の実践的な技術開発を活かし、地域活性化を行っていききたい」と述べ、越塩水産学部長は、「本連携を契機に研究発展のきっかけにしたい」と述べました。



3. 今後の展望

本学の得意とする水質管理やバイオマス関連の技術を使い、共同研究を開始して行きたいと考えております。

報道資料（受賞関係） 地方自治功労者総務大臣表彰

平成29年11月21日

報道機関各位

越後雪かき道場®

長岡技術科学大学 機械創造工学専攻
教授 上村 靖司

1. 概要

機械創造工学専攻教授・上村靖司が主宰する「越後雪かき道場®」が、地方自治法施行70周年自治功労者として表彰されました。平成18年豪雪で152名もの犠牲者を数えるなど甚大な被害を経験し、豪雪地帯の過疎化・高齢化の進展が雪害を拡大しているとの認識から、除雪ボランティア育成、地域の受援力向上の両方を狙って、平成19年冬から活動を開始した団体です。これまで11冬季にわたって継続して活動し、7県の25箇所以上で延べ50回以上開催し、初級1146名、中級195名、上級90名の修了者を輩出しています。

2. 賞の概要・受賞の理由

平成29年は、昭和22年5月3日に地方自治法が施行されて70周年に当たる大きな節目の年に当たるため、国民を挙げて地方自治の意義と重要性とを再認識し各地方公共団体の一層の発展と地方自治の伸展を期する目的で、国は記念式典を挙行するとともに、地方自治に関する功労者の表彰を実施しました。自治功労者表彰のうち、「都道府県及び市町村の行政に積極的に参画し又はコミュニティづくりに熱心に取り組んでいる民間団体、住民自治組織等」として受賞した121団体の一つとして、このたび「越後雪かき道場®」が表彰されたものです。

「除雪救援」と「除雪安全」の2つのミッションを掲げて誕生した「雪かき道場」は、11冬季の間に多数の修了者を輩出するとともに、十日町市池谷地区、群馬県片品村社会福祉協議会に暖簾分けしたり、山形県尾花沢市、長野県飯山市に派生した兄弟プログラムも根付かせるなど、その普及にも尽力してきました。その他にも、全国の豪雪地帯の同様な活動に対して多大な影響力を与えてきています。平成22年以降は、除雪安全に力点を置き、事故の3分の2を占める高所からの転落事故の対策に取り組んでおり、平成25年以降はさらに「ボランティアを屋根に上げる」というタブーにも踏み込み、中級・上級プログラムの構築も進めてきました。また、並行して、様々な企業等と連携し製品開発などのハード整備も進めてきています。例えば㈱基陽と共同し、雪下ろし作業に特化した安全帯を開発してコメリホームセンターで販売していますし、屋根に命綱を結びつける金具（アンカーと呼ぶ）は、魚沼市建築組合の方々と共同で開発しています（新潟県建築住宅課が今年度にパンフレット作成）。さらには、意外と多いハシゴ事故を減らすために長谷川工業㈱と安全なハシゴの開発も進められ、間もなく市販が始まる予定です。

報道機関各位

「県別・市町村別の人身雪害リスクの比較」

長岡技術科学大学 機械創造工学専攻
教授 上村 靖司

1. 概要

平成18年豪雪で152名の犠牲者を数えるなど、雪に関わる人的被害は決して小さくありません。しかも、平成17年以降の13冬季で1,000名を超える死者数を数えていることからわかるように、毎年のように雪国で起きている極めて身近な災害です。しかし単純にその数字だけで議論するのは不十分であり、年あたり人口あたりといった標準化した指標、すなわち「リスク」の水準で議論すべきです。この度、日本自然災害学会から「学術賞」を頂いた論文では、新潟を含む日本海側の東北4県の人身雪害のリスクを分析し、一般労働災害の20~36倍にもなることを明らかにしました。

2. 賞の概要・受賞の理由

日本自然災害学会では、過去3年間に「自然災害科学」その他日本自然災害学会の刊行物に論文等を発表し、独創的な功績をあげ、これが自然災害科学における学術の進歩発展に顕著な貢献をなしたと認められる方に対して学術賞を授与しており、平成29年度は2件が受賞いたしました。

対象となった論文は、「県別・市町村別の人身雪害リスクの比較」と題するもので、「自然災害科学」第34巻3号（2015年発行）に掲載されました。人身雪害が多い東北4県において、2005年から7冬季のデータを用いて、市町村単位での分析を行い、これまで明確でなかった人身雪害リスクを客観的に評価しています。分析の結果、通常の労働災害のリスクを許容リスクとみなすと、4県のほとんどの自治体で許容できない水準のリスクに住民がさらされていることを明らかにしました。また、4県について人身雪害リスクと社会統計量との偏相関分析により、人身雪害が起こりやすい地域の特徴を、4県のうち3県で明らかにすることに成功しています。これらの知見は人身雪害対策を高度化する上での重要なもので、その学術的価値が高く評価されました。

3. 今後の展望

近年でいえば、北海道、新潟、東北3県の順に人的被害が多い、というのが通説でしたが、リスクで比較すると秋田・山形が最も高く、続いて青森、新潟、北海道と逆順であることが示されたことで、各自治体においても危機意識が高まってきています。また看過できない水準のリスクを軽減するべく、新潟県でも転落事故防止対策の情報発信や啓蒙活動が活発化するなど、波紋も広がっています。関係機関へのさらなる働きかけや、安全の水準を飛躍的に高めるような用具・設備等の開発にも取り組んでいきいと考えております。

株式会社ブシロード
代表取締役社長

木谷 高明 氏



創業から10年で年商223億！
「カードファイト!! ヴァンガード!」
「BanG Dream!」でおなじみ、
急成長するブシロードの極意とは!



©ヴァンガードG2016/テレビ東京 ©相棒学園2017/テレビ愛知 ©BanGDream! Project ©bushiroad All Rights Reserved.

日時：2017年12月4日(月) 16:20~17:50
場所：長岡技術科学大学 講義棟1F B講義室

参加費：無料 事前申し込み不要

長岡技術科学大学テクニカルパートナー研修会の実施について

国際技学共同教育研究推進室

1. 開催趣旨

本学の研究成果及び技術力等を産業界に広く還元するため、本研修を実施し、企業との橋渡し役を担う人材として本学から委嘱を受けた銀行員が、大学の研究成果を企業に情報提供するとともに、企業の新商品・新技術の開発ニーズや海外展開ニーズを収集し、本学との共同研究等の連携機会を拡充することを目的に活動を行う。

2. 主 催 長岡技術科学大学

3. 受講対象 株式会社大光銀行行員（15名参加）

4. 期 日 平成29年11月21日（火）9:30～17:00（開会式・閉会式を含む）
講義時間 10:05～16:50（休憩時間を含む6時間55分）

5. 研修テーマ及び講師

「実例紹介」

講師 技術科学イノベーション専攻 中山 忠親

「長岡技術科学大学における産学官金連携活動」

講師 テクノインキュベーションセンターリエゾンマネージャー 福島 忠男

「顧客企業の特徴分析と技術シーズ集の見方」

講師 産学官連携コーディネーター 阿部 勝栄

「本学における産学連携事例」

講師 産学官連携コーディネーター 長谷川 雅人

「長岡技術科学大学が進めている、企業の海外市場展開支援の具体例について」

講師 産学官連携コーディネーター 学長特命教授 高橋 昭男

「AIの本質と使い道」

講師 情報・経営システム工学専攻 講師 野中 尋史

6. 日 程 別紙「日程表」のとおり

長岡技術科学大学テクニカルパートナー研修日程表

開催日時：平成 29 年 11 月 21 日（火）10：00～17：00 総合研究棟 7階 会議室 司会 山田課長

時 間	研修内容
9：30～10：00	受付
10：00～10：05	開講の辞 長岡技術科学大学 NTIC センター長 山口 隆司
10：05～12：00	『長岡技術科学大学の産学官金活動について』 講師：長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻 教授 中山 忠親 「実例紹介」（20分） テクノインキュベーションセンター リエゾンマネージャー 福島 忠男 「長岡技術科学大学における産学官金連携活動」（20分） 産学官連携コーディネーター 阿部 勝栄 「顧客企業の特徴分析と技術シーズ集の見方」（20分） 産学官連携コーディネーター 長谷川 雅人 「本学における産学連携事例」（20分） 産学官連携コーディネーター 学長特命教授 高橋 昭男 「長岡技術科学大学が進めている、企業の海外市場展開支援の 具体例について」
115分	
12：00～13：05	(昼 食)
13：05～14：20	「AIの本質と使い道」 経営・情報システム工学専攻 講師 野中 尋史 ・講演（60分） ・質疑応答（15分）
75分	
14：20～14：30	(休 憩)
14：30～16：10	研究室見学（大石研、南口研、高橋（勉）研、磯部研） ・準備、移動（10分） ・見学時間（80分） ・総研棟7階への移動（10分） ※2班に分かれて見学
100分	
16：10～16：50	司会進行：産学官コーディネーター 吉崎 康正 ・自由討論 ・「話題提供」 講師：長岡技術科学大学 NTIC センター長 山口 隆司
40分	
16：50～17：00	委嘱状授与・閉講の辞 長岡技術科学大学 理事・副学長 三上 喜貴
10分	

※ 大光銀行 15名 受講者

研究室見学順路

	<u>1 班</u>		<u>2 班</u>
14:40～15:00	<u>大石研</u> (実験室 2 号棟 118 号室)	14:40～15:00	<u>磯部研</u> (工作センター203 号室)
15:00～15:20	<u>南口研</u> (機械 2 号棟 377 号室)	15:00～15:20	<u>大石研</u> (実験室 2 号棟 118 号室)
15:20～15:40	<u>高橋研</u> (機械 3 号棟 441 号室)	15:20～15:40	<u>南口研</u> (機械 2 号棟 377 号室)
15:40～16:00	<u>磯部研</u> (工作センター203 号室)	15:40～16:00	<u>高橋研</u> (機械 3 号棟 441 号室)